

2025 年度 地域連携推進会議 議事録

1. 会議の概要

- (1) 会議名 2025 年度 地域連携推進会議
- (2) 開催日時 2025 年 11 月 10 日 (月) 10:00～11:30
- (3) 開催場所 障がい者支援施設オリブ 1 階 集会室
- (4) 議事録作成者 柴崎 徹 (司会・書記)

2. 出席者

【施設関係者】

小川秀幸 (施設長) / 石田良 (障がい福祉課長) / 山本貴一 (事務主任) / 柴崎徹 (オリブ主任) / 大川浩美 (サービス管理責任者)

【行政関係者】

- ・ 下田市福祉事務所 担当者 1 名
- ・ 東伊豆町住民福祉課 担当者 2 名
- ・ 南伊豆町福祉介護課 担当者 1 名
- ・ 松崎町健康福祉課 担当者 1 名

【関係機関】

- ・ 松崎町社会福祉協議会 担当者 1 名
- ・ セレニティー (株) Soluna 吉佐美 (障がい者グループホーム) 担当 1 名

※ご利用者代表、ご家族代表、地域住民、民生委員は都合により欠席となりました。

3. 議事内容

(1) 施設見学の実施

1 階礼拝室 → エレベーターホール → オリブ施設内 → 外階段 → 2 階礼拝室 → 3 階防災倉庫・ランドリールーム

< 質疑応答 >

Q、障がい者支援施設オリブは同一建物内に高齢者施設も併設されているが、各施設で欠員が出た場合は、ヘルプにいくことがあるか？

A,新型コロナウイルス等の施設内感染により、夜勤者確保が困難等の緊急性の高い場合のみ施設間で人的補充を行った事例はある。

Q,松崎十字の園は、同一建物内に様々な事業所が併設されているが、人事異動により高齢者施設から障害者施設といった異動はあるか？

A,人事異動はある。主に年度移行時期の異動である。

(2) 施設防災および BCP の現状報告

立地・施設状況・防災体制・課題について説明。

<質疑応答>

Q,大規模災害発生時の基本的な考えとして「職員は自分自身の身を守り生き延びる」とあるが、職員自身の安全確保を最優先とする考え方に衝撃を受けた。そのようなマニュアルは一般化されているのか？

A,東日本大震災以降で施設防災マニュアルも大きく変更となった。避難誘導等の人命に関わる部分も変わった。例えば、東日本大震災以降は勤務外職員の施設集合については、職員自身またはその家族の人命優先となり施設集合のマニュアルは変更となった。

Q,地域（江奈地区）の防災訓練との連携はあるか？

A,以前は施設防災委員が参加していた。現状は、地区内在住職員が参加するのみとなっている。

・構成員より提言

賀茂圏域内の他施設で松崎十字の園と同じように沿岸部に立地している施設がある。西伊豆町のしおさいや南伊豆町のなぎさ園と施設防災のあり方について意見交換等行い連携を図る事も良いのでは？

4.今後の地域連携推進会議運営に関して

・構成員からの提言

- 1) 今回、会議参加者が市町関係者や関係機関の方のみになってしまった。会議の在り方として、地域住民や施設ご利用者、ご家族の参加しやすい会議体とすべきである。
- 2) 施設入所ご利用者の家族会との2部制もしくは家族会内へ組み込むのも検討の余地がある。
- 3) 日程調整を施設主体では無く、地域住民やご家族主体で設定すべきであった。
- 4) 施設立地区内の民生委員や地域住民に限定せず広く参加者を募集してはどうか？
- 5) 介護保険事業におけるグループホーム主体の会議体の委員を務めた経験があるが、議事録をしっかりと残し公表することで、会議の実態を知ってもらえるきっかけとなる。

以上